

広報

浦安市

うらやす

主な内容

浦安市の家計簿	1～3面
市民功労者表彰	4面
市民活動補助金交付事業の募集	5面
児童虐待防止推進月間	11面
秋季全国火災予防運動 ほか	12面

発行/浦安市
 所在/〒279-8501 千葉県浦安市
 猫実一丁目1番1号
 編集/市長公室広聴広報課
 ☎047-351-1111(代表)
<http://www.city.urayasu.chiba.jp>

浦安市の 家計簿

平成22年度決算と 23年度上半期の予算執行状況

市では、皆さんから納めていただいた大切な税金などを無駄なく効率的に使っていきけるよう、出入りするお金を2つの会計に振り分けて管理しています。通常出入りされるお金は「一般会計」に、特定の事業に使うお金は「特別会計」で管理します。

「一般会計」は、目的を達成するために予算化して計画的に使われるもので、皆さんから納めていただいた税金などを歳入、それをさまざまな事業に使うことを歳出と言います。

また、「特別会計」の中には、「国民健康保険」「公共下水道事業」「介護保険」などの事業ごとに区切りがあり、それぞれの目的のために歳入と歳出を予算化し、ほかの目的で使うことはありません。

なお、22年度決算の認定は、現在、市議会で継続審議されています。

【問】財政課

歳入

平成22年度一般会計決算

645億
6585万円

歳入と歳出の
差額

29億
2730万円

※詳しくは2・3ページへ

616億
3855万円

歳出

特集は2・3ページに続く

こんにちは 市長室です

10月8日(出)から10日(祝)の3日間、明海地区の総合公園で、「うらやす復興祭」が好天の下、盛大に開催されました。

例年、文化会館の周辺で開かれていた「市民まつり」を、震災のあった今年は、元町の皆さんに被災した中町・新町を少しでも知ってもらい、16万市民が一丸となって復興を目指そうと、会場を新町地域に移し、開催されました。

マーチング・パフォーマンス、メインステージでの音楽演奏やダンスの演舞などがあり、グルメのお店やさまざまな物産店、市内のホテルの出店などその数は100店を超え、ふだんは広々とした総合公園の広場もこの日ばかりは狭く感じました。

3日間の売り上げが予想をはるかに超えて歓声を上げる出店者がいる

など、復興の兆しを思わせる場面も見られました。

初日は、オープニングパレードに先立ち、被災直後から格別な支援をいただいた陸上自衛隊需品学校や、東京都下水道局、全国から駆けつけてくれた市町村を代表して江戸川区、ライフラインの応急復旧に関わった事業者代表の京葉ガス、さらに市内の建設業者・商工業者などを代表して浦安商工会議所に、被災以来これまでのご尽力に感謝の気持ちを伝える「感謝セレモニー」を行いました。

パレードの華は、ミッキーマウスなど東京ディズニーリゾートのキャラクターたちはもちろんのことですが、圧巻は英国女王陛下の近衛軍楽隊として200年余の歴史を誇る「コールドストリーム・ガーズ・バンド」のパレードでした。

今年はエリザベス女王の在位60周年のために英国大使館などが本国から呼び寄せていましたが、実行委員会の努力で、復興祭への参加が可

KEY
WORD

うらやす復興祭

能になったものです。

熊の毛皮で作った独特の縦長の黒い帽子に真紅の礼装と、まるでおもちゃの兵隊を思わせる装いの42名に、スコットランドの民族衣装を身にまとったバグパイプ奏者の6名を加えた、見た目も屈強な英国軍人の堂々たるマーチング・パレードに、沿道に押しかけた市民から大きな拍手と歓声が沸き起こっていました。

特に本部席の前でのバグパイプによる「アメイジング・グレイス」の演奏には心を打たれました。

最終日には、4年に一回の三社祭を来年に控えた清瀧神社・豊受神社・稲荷神社の若衆による御輿の渡御が行われました。

今回の震災で唯一の救いは、62年ぶりの激甚災害の指定であるにもかかわらず死者が出なかったことと、元町の被害が軽微だったことです。

元町を代表する三社の総代の皆さんが、中町・新町頑張れと御輿の渡御で応援してくれたことは、何よりもうれしいことでした。

また、入船東自治会と富岡自治会手作りの御輿を三社の若衆が一体となって担ぎました。昔から、浦安の祭りはけんか祭りと言われるくらい荒々しく、三社の若衆と一緒に担ぐことなど考えられなかったのですが、震災を機に「三社の和」という希望を投げかけたように思いました。

3日間の人出は、約33万人と事前の予想をはるかに超え、これからの復興への大きな弾みとなりました。

松崎秀樹

平成22年度決算

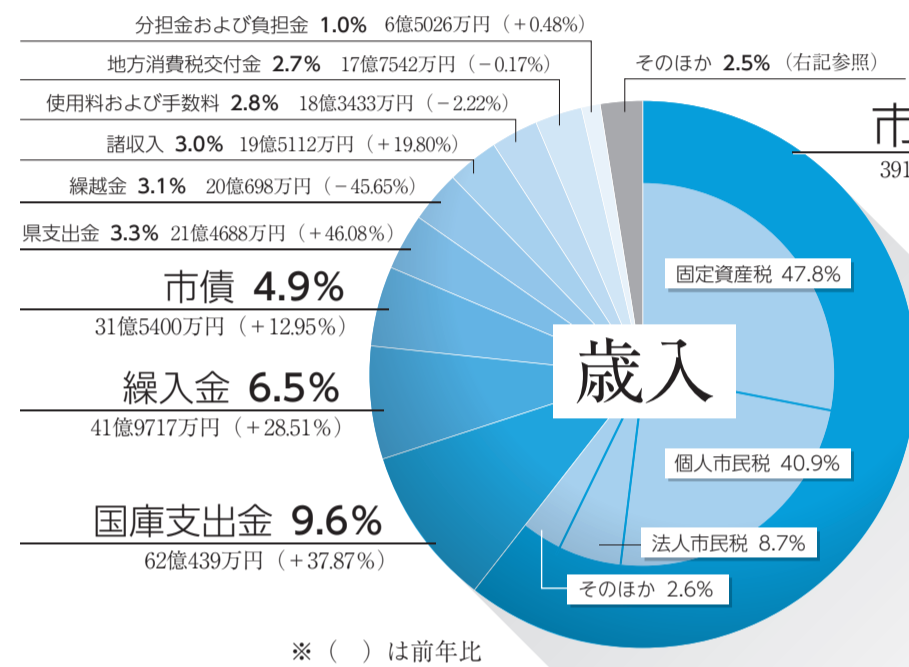
一般会計

人口・世帯数 (23年3月31日現在)

人口 **16万5128人**
世帯数 **7万3341世帯**

決算の概要

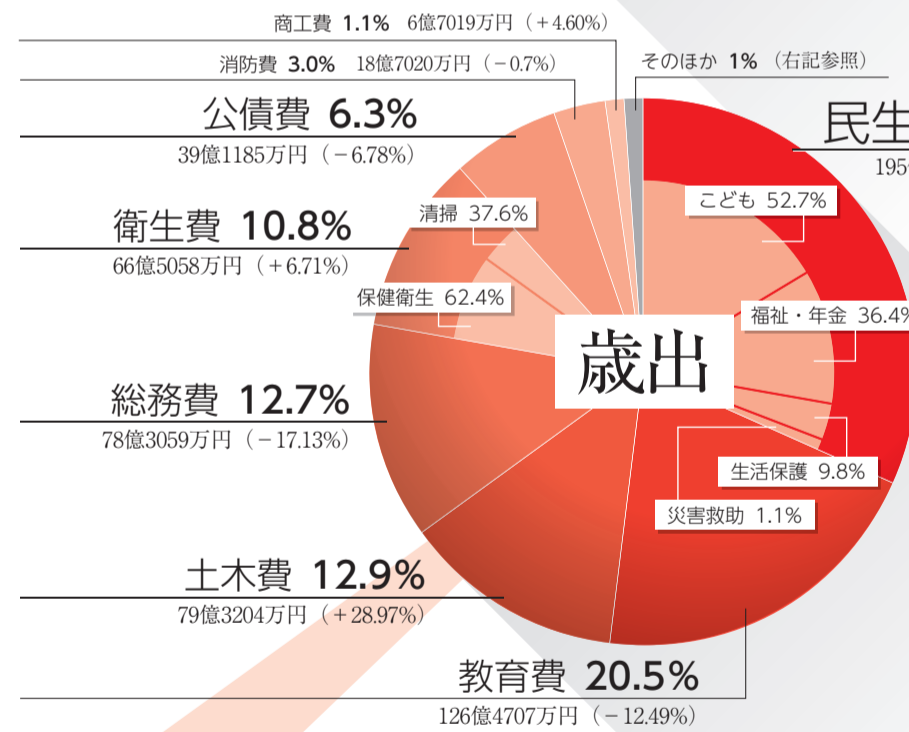
22年度は、定額給付金などに伴う補助費などや公債費の減少はありましたが、子ども手当や生活保護費などにかかる扶助費や任意予防接種などにかかる物件費などの増加により、一般会計の歳出額は約616億円と前年度に比較して約3%増加しました。
歳入は、個人市民税、地方特例交付金などで減少はありましたが、法人市民税、固定資産税、土地開発基金繰入金や高洲地区公民館複合施設整備などに伴う市債の増加により、一般会計の歳入額は約645億円と前年度と比較して約3%増加しました。



645億6585万円

市民税などの市税や国・県からの支出金、公共施設の使用料など、市に入ってくるお金のことです。

- 市税——市税、固定資産税、軽自動車税、市たばこ税など
- 国庫支出金——児童扶養手当給付費負担金、生活保護費負担金など
- 繰入金——前年度からの繰越金など
- 国庫支戻金——基金、特別会計からの繰り入れ金
- 市債——市が発行する債券(家計でいう住宅ローン)
- 使用料及び手数料——施設の使用料、手続きに関する手数料など



616億3855万円

皆さんからの税金などを、さまざまな事業を行うために使うお金のことです。

- 民生費——年金、生活保護費、各福祉手当、福祉施設・保育園の管理・運営など
- 教育費——幼稚園、小・中学校、公民館、図書館、スポーツ施設の管理・運営、青少年健全育成など
- 衛生費——市の運営、選挙、地域コミュニティ、防犯対策、防災対策など
- 土木費——各種健康診断、予防接種、公害対策、ごみ処理施設の管理・運営など
- 公債費——市債の返済に使われたお金(家計でいう住宅ローンの返済)
- 消防費——消防署の管理・運営、消防車の購入、防火・消火活動など
- 災害復旧費——震災により被害を受けたインフラなどの応急復旧経費など

市民1人あたりの負担額
歳出÷22年度末人口

37万3277円

- 民生費——11万8481円
- 教育費——7万6590円
- 土木費——4万8036円
- 総務費——4万7421円
- 衛生費——4万275円
- 公債費——2万3690円
- 消防費——1万1326円
- 商工費——4059円
- その他——3400円

特別会計

22年度特別会計の決算

科目	歳入	歳出
国民健康保険特別会計	114億6818万円	106億4309万円
公共下水道事業特別会計	34億9640万円	32億543万円
老人保健特別会計	215万円	79万円
墓地公園事業特別会計	2億9765万円	2億8628万円
保険事業勘定	41億3141万円	40億8497万円
介護サービス事業勘定	11億8219万円	10億7416万円
後期高齢者医療特別会計	7億6862万円	7億5685万円
合計	213億4660万円	200億5157万円

22年度末市債の現在高、私有財産、税の状況

22年度末の市債の残高

市債は市の借金ですが、道路整備や学校など、将来にわたって長期間使われる施設の建設費用などを、現在の市民と将来の市民が分け合い、「世代間の負担の公平」を図っていく制度です。

一般会計債	66.6%	250億9609万円
下水道事業債	28.6%	107億8798万円
介護サービス事業債	4.8%	17億9375万円

市民1人あたりの借入金残高
22年度末市債の現在高÷平成22年度末人口

22万8173円

22年度市が持っている土地・建物など

土地	2,124,767 m ²
建物	417,327 m ²
基金現金・有価証券	245億8906万円
車	180台
バイク	18台

市民1人あたりの預貯金
22年度基金現金・有価証券÷22年度末人口

14万8909円

歳入と歳出の差額
29億2730万円

基金への繰入金 10億円
23年度への繰越金 19億2730万円

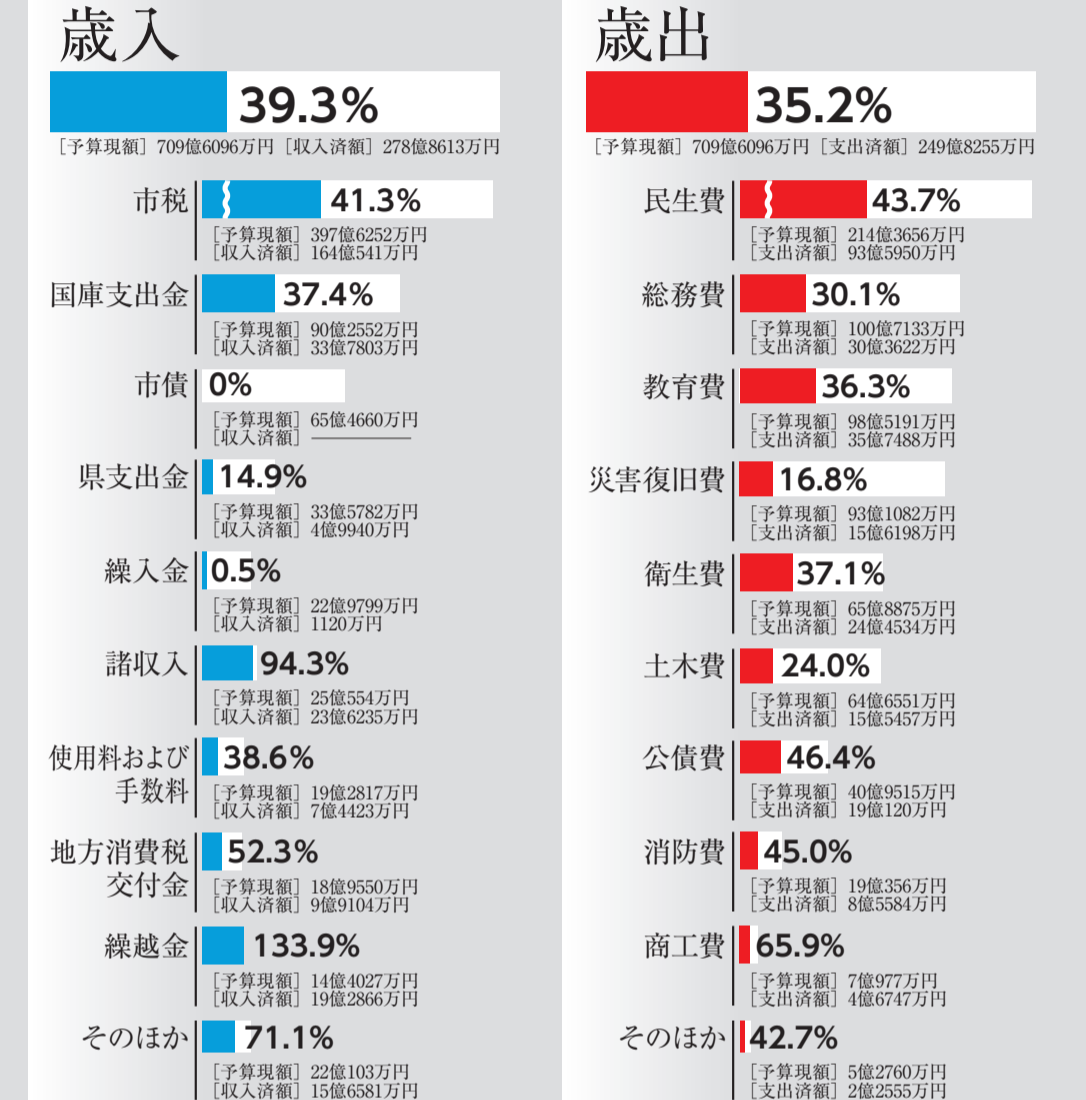
平成23年度予算のこれまでの執行状況

執行状況の概要

(9月末現在)

23年度は、東日本大震災により被害を受けた道路や建物などの復旧にかかる予算を補正して計上しているため、予算は22年度決算を上回っています。
上半期の執行状況は、市の自主財源に大きな割合を占める市税収入は昨年同時期に比べ、若干減少しています。歳出では、災害復旧・復興をより推進していくため、多くの事業を計画的に進めています。

23年9月末現在の一般会計の執行状況



23年9月末現在の特別会計の執行状況

科目	予算現額	収入済額	支出済額
国民健康保険特別会計	114億8200万円	58億3168万円	48億5554万円
公共下水道事業特別会計	98億2464万円	8億8346万円	14億4663万円
墓地公園事業特別会計	2億6430万円	1億4263万円	9278万円
保険事業勘定	43億5400万円	20億7106万円	17億9354万円
介護サービス事業勘定	11億8416万円	6億4636万円	5億8944万円
後期高齢者医療特別会計	7億8600万円	2億9299万円	1億5932万円
合計	278億9240万円	98億6818万円	89億3725万円

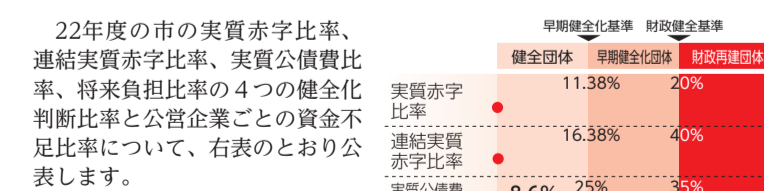
23年9月30日現在の市債の残高

区分	金額	構成比
一般会計債	214億1693万円	64.7%
下水道事業債	101億1660万円	30.5%
介護サービス事業債	15億9553万円	4.8%

23年9月30日現在市が持っている土地・建物など

土地	2,125,183 m ²
建物	417,327 m ²
基金現金・有価証券	255億149万円
車	177台
バイク	17台

22年度市財政の健全化判断比較・資金不足を公表します



※実質赤字比率、連結実質赤字比率、将来負担比率は、黒字の場合は「-」の表記になります

公営企業ごとの資金不足比率

市公共下水道事業特別会計の料金収入などに対する資金不足の規模を計算した資金不足比率は、経営健全化基準(20%)をクリアしています。

当該比率について、詳しくは、市ホームページをご覧ください

歳入 645億6585万円

歳出 616億3855万円